

36

2015

特集1 斎藤美奈子さん講演会
これからのワーク・ライフ・バランス

特集2 笑っている家族を増やそう
楽しく、当たり前にか家事・育児に取り組む男性たち
職場が変われば家族も変わる

MIW

千代田区男女共同参画センター情報誌

通信



表紙の写真：ご登場いただいた皆さん。本文中で紹介しています。

「MIW」は千代田区男女共同参画センターの愛称です。MはMan(男性)、IはIntercommunication(情報や意見の交換)、WはWoman(女性)という意味です。男性と女性の間には、いつもI(自分らしさ)と愛(思いやり)をもって、対等な新しいパートナーシップを創造してほしいと願っています。

これからの ワーク・ライフ・バランス

2014年10月4日、第2回MIW祭りに、文芸評論家の斎藤美奈子さんをお呼びして、「これからのワーク・ライフ・バランス」についてお話をしました。女性教育の歴史から現代のドラマでの女性の描かれ方まで多岐にわたり、ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画について、目を開かせられるお話でした。

斎藤美奈子さん

文芸評論家。1956年、新潟市生まれ。児童書等の編集者を経て、1994年に『妊娠小説』（ちくま文庫）でデビュー。朝日新聞書評委員や文芸時評を担当し、現在は同紙の紙面審議委員。著書に『紅一点論』『モダンガール論』『麗しき男性誌』『男女という制度』（編著、岩波書店）『冠婚葬祭のひみつ』（岩波新書）など多彩。『文章読本さん江』（ちくま文庫）で第一回小林秀雄賞受賞（2002年）。



もっと生きやすい社会に向けて

なぜ、ワーク・ライフ・バランス？

今さらながらですが、日本には、自民党と社民党と新党さきがけの3つが連立政権だったときに起草された男女共同参画社会基本法という法律があります。

男女共同参画社会の形成は男女の個人としての尊厳が重んじられること、男女が性別による性差別的取扱いを受けないこと、男女が個人として能力を発揮する機会を確保されること、その他の男女の人權が尊重されることを旨として行われなければならないということです。けれど実際は、ジェンダーギャップ指数*で日本は世界104位。これが日本の男女平等の実態です。

そこでワーク・ライフ・バランス（日本語で言うところの仕事と生活の調和）ですが、これは今の国の方針なのです。2007年12月に、福田康夫内閣の時、ワーク・ライフ・バランス憲章ができました。前文には、「国民一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすと共に、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった

人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」というのを仕事と生活の調和が実現した社会と書かれています。理想的ですが、言うは易く行うは難いです。

このところ安倍首相が「女性が輝く社会」と言い、国は2020年までに女性の管理職を30%にするという「202030」という目標を出しています。でもこの女性活躍の裏にあるのは、女性の活用です。

国は「就労による経済的自立が可能な社会」「健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会」「多様な働き方・生き方が選択できる社会」の3つの目標を出しています。元々、ワーク・ライフ・バランスはアメリカの労務管理の一環です。国や企業、財界、労働界がワーク・ライフ・バランスと言いだしたのは、1つは少子高齢化社会への対策です。人口・労働人口が減少、介護世帯が急増し、子育て世帯が今のままでは大変。だから、ワーク・ライフ・バランスで、みんなで子育て世帯や介護世帯のことを考えようとしています。2つ目に、働き方の変化への対応。共働きや

*経済、教育、政治、保健の4分野で男女の格差がどのくらいあるかを数値化した指標

報道キャッチ

2014年のニュースで「これって？」と講演で話されたポイント。

■ STAP 細胞問題で小保方晴子さんが「割烹着の異彩リケジョ」「壁をピンクに塗り替え…、女子の側面をのぞかせる」等と騒がれ、論文不正が取り立たされたら、「乱れた異性交遊」のようなことが書かれた。男性の研究者だったら絶対にはない扱い。

■ 「早く結婚した方がいいんじゃないか」—6月、都議会で塩村文夏都議が受けたセクハラ発言。政治家のセクハラ発言は後をたたない。女性は早く結婚して子ども産んだ方がいいという価値観がすごく刷り込まれている。

非正規雇用が増え、雇用形態が多様化した。今は、ワークシェア（分け合って仕事をやる）していかないと立ちいかなくなっています。3つ目は、企業労働環境の悪化です。働さなくても働けない人、休みたくても休めない人がいる問題に対して、国や自治体がワーク・ライフ・バランスを必要としています。さらに、福祉予算を減らしたいとの思惑もあるかもしれません。

ワーク・ライフ・バランスは方向性としては間違っていないので、これを逆手にとっ

てどうやって生きやすい社会をつくっていくかが大切です。

ワーク・ライフ・バランスは仕事と生活の割合を半々にすることや、時短を実現してコストを削減することではありません。多様な事情を抱えた人が男女とも安心してそれぞれの事情に合わせて働ける環境をつくることだと思っています。さらに大切なことは、男女平等社会にしないと絶対にワーク・ライフ・バランスは実現しないということです。

そのためには、長時間労働を何とかしなければならぬし、意識の問題も大きい。企業のトップの意識が変わらなくてはと思います。とくに、男性モデルに変化がありません。簡単に言えば、働き過ぎ。女性が働きたくても働けないのと同様に、男性は子育て、介護に関わりたくても長時間労働ではできません。男性が変わらないと。今までの男女共同参画は男性の働き方に女性に合わせていることを目指してきたけれど、それを根本的に変えないといけないでしょう。

さらに、ワーク・ライフ・バランスを阻むものに根強いジェンダーバイアス**の問題があります。一番わかり易いのは性別役割分業意識。「男は仕事、女は家庭」「男性はリーダーで女性はサブ」とか、性別によつて期待される枠組、縛りがあります。日本は性別役割分業意識が高い国で、内閣府の調査***によると「夫は外で働き妻は家を守るべき」という考えに賛成、どちらかといえば賛成の女性は48・4%、

**社会的、文化的性差にもとづく偏り、偏見

***内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」H24年調査



5割近く。男性は50%以上が賛成しています。例えば、スウェーデンでは分業賛成は男女とも10%以下ですから、日本はまだまだの状態です。

ジェンダーバイアスのルーツを探る

ジェンダーバイアスのルーツを探ると、400年くらいの歴史があります。『女大学』という女子のための教育書があります。有名な「三従」——幼にしては父に従い、嫁しては夫に従い、老いては子に従い、という言葉は、この本から来ています。『女大学』は今までに10種類くらい出ていて、一番最後に出たのは1899年。福沢諭吉の『女大学評論新女大学』です。福沢諭吉は平等思想の持ち主で『女大学』を批判しています。

——『女大学』は、古来、女子社会の宝書と崇められ、一般の教育に用いて女子を戒むるのみならず、女子がその教えに従って萎縮すればするほど男子のために便利なる故、男子の方がかえって女大学の拾遺を唱えて、もって自身のわがままをほしいままにせんとする者多し。女子たるもの

決して油断するべからず。

つまり『女大学』に騙されるなど言っている。さすが福沢諭吉です。そして、学問に対しては「女子も男子も相違あることなし」と、女性もちゃんと勉強しなさいと言っている。そこはいいけれど、「女性は最も優美を貴ぶが故に、学問をすればとて、男書生の如く朴訥なる可からず。無遠慮なる可からず。不行儀なる可からず。差し出がましく生意気なる可からず」とある。つまり、「女は生意気なのはあかん」ともいつているのです。こうした意識を植え付けられると、「権利は堂々とではなく慎ましく主張しなくては」となって、言うべきことを言わなくなるわけです。

実は『女大学』は今もあります。現代女大学と言われる本には、男女平等論について、女性に対する差別は現代も残っていると書かれています。「若くて素直で地位が低いうちは重宝がられても、女性が責任のある仕事をするようになると反感を持つ人もいます。差別は許されないが、個人の生き方としては、自分の権利を振り回さず、感謝を表しながら黙って実力を蓄え、一目

ジェンダーバイアスのルーツ

【近世の言説】

女は常に心遣いして、己の身を堅く謹み護るべし。朝は早く起き、夜は遅く寝（い）ね、昼はいねずして、いえの内の事に心をを用い、織り・縫い・績（つむ）ぎ、怠るべからず。また茶・酒など多く呑むべからず。歌舞伎・小歌・浄りなどの淫れたる事を、見聴くべからず。宮・寺などすべて人のおおくあつまる処へ、四十歳より内は余に行くべからず。

（『女大学宝箱』）

【近代の言説】

女大学は、古来、女子社会の宝書と崇められ、一般の教育に用いて女子を戒むるのみならず、女子がその教えに従って萎縮すればするほど男子のために便利なる故、男子の方がかえって女大学の拾遺を唱えて、もって自身のわがままをほしいままにせんとする者多し。

（福沢諭吉『新女大学』）

おかれる存在になるほうがスムーズに運ぶ」と言っています。育児休暇についても書かれています。「女性は職場では育児・介護休業法で保障されている休業や時間短縮の権利があるが、権利を行使すると迷惑をおかけします。おかげさまで子どもを持たせていただけです」というように、感謝の言葉を忘れないようにしましょう」という内容です。

出典は2007年のベストセラーで300万部突破した『女性の品格』。著者は坂東眞理子さんで、内閣府の男女共同参画局長だった方です。男

女平等意識は高いですが、「権利はあるけれど、産休・育児は遠慮しいしい取りなさいよ」と言っているわけです。実際、「ご迷惑おかけしてごめんね」と思わないで休みを取る人はいないですよ。だからこそ、「こそそしないで堂々と取ればいいのよ」と上司は言っている。女性に遠慮してという『女大学』の頃からの伝統は今も生きているんです。

堂々と休暇をとること

では、ジェンダーバイアスが根強い社会でどうすればいい

朝ドラのヒロインを考える

日本のテレビドラマを観ていると性別役割分業がよくわかる。男性が家事をしているドラマがない。NHKの朝のテレビ小説のヒロインをみると天然でちょっと鈍感。地道に努力するよりも、かわいく素直にいい子でいる方が成功することだとのメッセージが刷りこまれている。

その中で名作は「花子とアン」「カーネーション」。2つとも原作本をもとに今までいなかったバリバリ働く女性を男性がフォローするという展開だった。ただ、「花子とアン」では、花子が原作にある男女同権運動や婦人参政権運動に関わっていたことや、女性と子どもたちに夢を与えないと男女共同参画社会はこないことを念頭において活動していた点は描かれていない。



いか。ワーク・ライフ・バランスにつながりますが、職場では、産休・育休を取る時は、悪い事をしているような感じではなく休暇は堂々と取ることでしょう。そうした人がいると、取ってもいいんだって思う人が出てくる。もう一つは、「堂々と休むと言っている人を応援する」こと。これが結構大事です。そして、職場の人たちとグループ内で時間・働き方を融通し合うことなどです。男性が育児休暇・介護休暇を取る時にも同じように大事です。

また、家庭では、家事分担はそれぞれのカップルが考えればいいことですが、「それぞれの得意分野で分担しない、いつもやっていることと違うことをやる」ことが意外と大事です。例えば、女性がゴミだして男性が料理をするとか。それから、完璧を目指さない、相手のやり方に口出ししないことも大事。それぞれにやり方があるし、最初はだめでもやっているうちに上手になります。だから子どもには家事を体験させた方がいいですね。特に男の子には。

最後にワーク・ライフ・バランスに限らずですが、「生活の中で変だと思ったその感受性は大事にしよう。変だと思っ

(文責MIW)

特集 1

これからのワーク・ライフ・バランス

MIWで所蔵する斎藤さんの著作



『妊娠小説』

『舞姫』から『風の歌を聴け』まで、望まれない妊娠を扱った小説ジャンルが存在していると指摘した著者の最初の評論！1994年 筑摩書房



『紅一点論』

テレビやアニメで非常に慣れた光景である「男の中に女が一人」。その「紅一点」のヒロイン像を探った評論。2001年 筑摩書房



『物は言いよう』

日常で使われる性や性別についての望ましくない言動を検討。女性視点のフェミニスト・コードを身に付けようと言った書。2004年 平凡社



『L文学完全読本』

女性を主人公にした女性作家の作品を「L文学」と名付け、物語の内容・形式の特徴を探った書。2002年 マガジンハウス

楽しく、 当たり前前に



父親が子育てに関わると、子どもの健やかな成長・発達にもプラスになると言われています。男性の育児・家事を応援する動きが進み、「子育てをしたい」と思うパパが増えてきましたが、育児休業を取っている男性はわずか2%。まだまだ、男性の家事・育児参加はむずかしい状況です。積極的に子育て・家事をしている家族の声を聞きながら、もっと男性が家事・子育てに関われるヒントを考えます。



大の方のおむつ替えもばっちり

妻が楽になる夫の協力とは

仕事上、時間が比較的自由になる大さんは、家事・育児に積極的に関わっています。朝起きて、二人で双子の子どものたちの食事・着替えをさせるのが日課。

「子どもたちが低体重だったので1か月ほど入院。その期間に助産師さんからおむつ替えや沐浴、ミルクの飲ませ方を習いました」と大さん。

しかし、半年ほどたった頃、お互いがイライラする状態になりました。「夫に『僕も手伝うからさ…』と言われて、『手伝うんじゃなくて…』と気持ちが悪く出てきて。子育ての不安、夫の育児の関わりにつ

いての不満、一人の時間が欲しいとの切羽つまった気持ちがあった」と珠香子さんは振り返ります。

そこで二人は、互いの気持ちを出し合い、育児から離れられる時間を作ろうと話しました。千代田区や民間の子育てサポート情報を調べ、一時預かり保育や在宅ヘルパーを利用、大さんも二人を連れて児童館に出かけるようにしました。珠香子さんは「ママ」としてではない自分の時間を持つようになり、気持ちが悪く落ちてきたと言います。

「夫が嫌がるので子どもを預けられず、一人だけで子育て



岡戸 大^{まさる}さん、珠香子^{みかこ}さんご夫妻。夫はパーカシオニスト、妻はジャズシンガー。双子の翔大^{しょうた}ちゃん、優羽^{ゆう}ちゃん、11か月。三崎町在住。

するのがつらいとのママの本音も聞きます。夫の協力はもちろんだけど、様々な子育てサポートの利用も大事だとパパたちにわかってもらいたい」と珠香子さんは話します。

「双子だから夫婦一緒に育てなくてはと思いますが、一瞬一瞬変わっていく子どもに少しでも接していただきたいですね。でも子育てより仕事が優先との気持ちはどうしてもある。だからこそ、仕事と育児の時間の調整ができて、子育て中の経済的保障があれば、もっと男性たちが育児に専念できると思います」と大さんは話していました。



絵本の読みきかせ

家事・育児に取り組む 男性たち



陽介さんは1か月間の育児休業を取りました。この期間は育児休業給付金が出ています。

陽介さんはIT企業のサラリーマン。朝8時半に出かけ、帰宅は20時過ぎ。平日、家事はなかなかできないけれど、休日の食器洗いや掃除、食事作りを担当しています。共働きなので、結婚当初から、「家事はさつさと終わらせよう」と二人で分担してきました。

陽介さんは育児は平日はほとんどできず、週末に、お子さんのお風呂やご飯、散歩に連れていったりしています。それでも忙しい中、陽介さんは育児休業を取りました。

「会社の方針で男性も育児を取るように言われ、10月末から1か月間取れました。既に育児経験のある男性の先輩もいて、会社の雰囲気は良かったです」（陽介さん）

この期間は夫婦で育児が取れたので、普段できないおむつ替えや妻に代わって子ども

男性の育児参加には上司の理解を



梶本陽介さん、里嘉さんご夫妻。夫はIT企業の会社員。妻は公務員で現在育児中。陽恩ちゃん1歳1か月。神保町在住。

の相手、さらに家族旅行にも行けたそうです。

「育児中に初めて、週末育児ではわからない妻の大変さ、子どもと一緒にいられる楽しさを知りました」（陽介さん）

「夫の育児中は、家事や育児の負担が減るばかりでなく、精神的にも支えられました。母親が一人ですと子どもを見守るのは大変だと改めて思いました」（里嘉さん）

4月から里嘉さんは陽恩ちゃんを保育所に預けて職場復帰の予定。朝の送りは陽介さん、お迎えは里嘉さんと決めています。

「忙しい時期には帰宅が深夜

近くになり、妻が職場に復帰してからどれだけ家事・育児に協力できるか心配です。今の時代、女性が働いて男性も家事・育児をして当たり前。制度も整えられてきていると思いますが、実際に職場でちゃんと運用されているかというところが難しい。僕の場合は社長が率先して男性の育児を推進しているのでできたと思います。まだまだ男性の育児や家事、介護については世代間で考え方のギャップがあります。男性の参加には、上の人の理解と応援が必要だと思います。」と陽介さんは話します。



ごはんを食べさせます

笑っている
家族を
増やそう

職場が変われば 家族も変わる

現在、日本の男性の育児休業取得率はわずか2%（H25年）。男性が育児や家事をするにはまだまだ「壁」があります。この「壁」を壊そうとする試み——「イクボスプロジェクト」について、ファザーリング・ジャパンの安藤哲也さんに伺いました。



安藤哲也さん

NPO 法人ファザーリング・ジャパン創設者。子ども虐待がない社会をめざす「タイガーマスク基金」代表理事。3児の父。パパの出張絵本おはなし会、研修・講演などで育児をする男性を応援する活動を展開。厚生労働省の「イクメンプロジェクト」にも関わり、各メディアでも活躍。『パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方』（NHK 出版）ほか、近著に『できるリーダーはなぜメールが短いのか』（青春出版社）など。

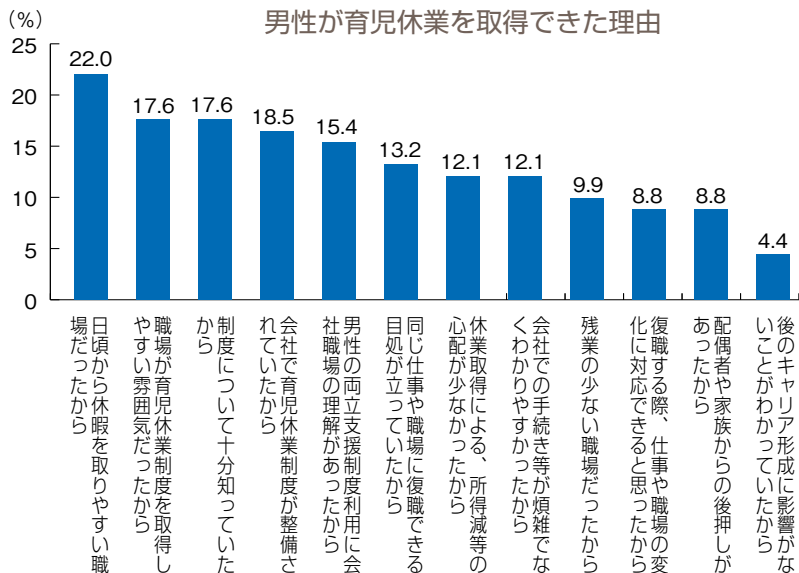
安藤さんたちが提唱している「イクボス」って何ですか？

「父親でいることを楽しむ」とファザーリング・ジャパンを立ち上げて8年、家事・

育児をする男性たちを応援してきました。追い風もあって、子育て世代の男性の意識は変わってきたと実感しています。それでも、実際の働き方はなかなか変わらない。大きな

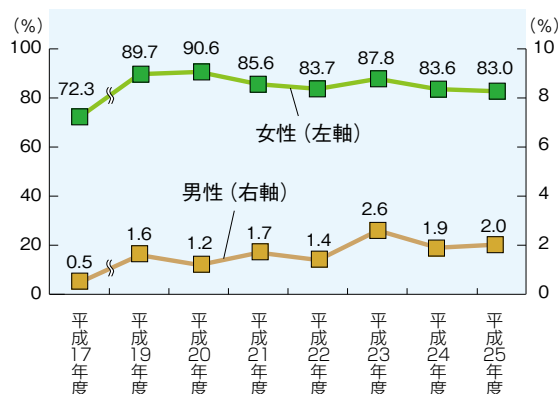
壁があるんです。それは、オヤジ管理職の旧態依然とした意識です。仕事だけに没頭して家事や育児を妻だけに任せてきた50代の管理職は、「男は遅くまで働いて当然」「男が育児？何、言っているんだ！」という意識で、「家事や育児も頑張りたい」と思っている若い世代の壁になっていました。だから必要なのは「管理職の改革」。女性が活躍できて、男性が家事や育児もできる職場の環境づくりを進められるボスが必要なのです。それがイクボス。僕たちが作った言葉です。丁寧といえば、「職場で共に働くスタッフのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）」を考え、その人の人生とキャリアを応援しながら

男性が育児休業を取得できた理由



厚生労働省委託調査研究「育児休業制度等に関する実態把握のための調査研究事業」（平成25年度）より

育児休業取得率の推移



H18年度は調査対象が異なるため計上していません。
厚生労働省「雇用均等基本調査」（平成25年度）より

5つ以上チェックがあれば

イクボス
合格！

- ☐ 部下全員の家族構成を知っている
→ 部下の家族も大事な存在と考えられる
- ☐ 部下が保育園呼び出しの電話に対応していることを瞬時に分かる
→ 共働き夫婦の悩みを理解できる
- ☐ 保育園呼び出しのあった部下に、自分から声をかけて「帰ってよし」と言える
→ 共働き夫婦の悩みを解決できる
- ☐ どんな環境でも結果を出せる自信がある
→ 自分自身の仕事のマネジメント能力が高い
- ☐ 部下が帰宅しなければいけない時間を把握し、午前中からフルで仕事ができる
→ チーム内のタイムマネジメントができる
- ☐ 部下が急に一人抜けても対応する方法を用意している
→ チームのマネジメント能力が高い
- ☐ 話下手な部下には、自分から話題を提供できる
→ 分け隔てなく、オープンにコミュニケーションができる
- ☐ 部下の成長を第一に考えている
→ 責任をとる度量がある
- ☐ 文化的教養が高く、話題豊富
→ 多様な価値観を理解でき、営業能力が高い
- ☐ デスクに家族写真を置いている
→ 職場でも家族の話を楽しめる
- ☐ 人生を楽しんでいる
→ 自分自身が、ワーク・ライフ・バランスを充実させている

NPO 法人ファザーリング・ジャパン作成

ら組織の業績も結果も出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむ上司（経営者・管理職）です。スタッフの様々な事情を考慮して企業経営に多様性を活かせるボスです。男性ばかりでなく女性もイクボスになってほしいです。

どのように「イクボス」を広めていますか？

まずはデータを出し論理的に、これからの企業にイクボ

スが必要だとアピールしています。少子化で労働力が減っていく。女性や高齢者の力や家事や育児、介護との両立だけでなく、ガンなどの病気など様々な事情を抱えた人たちの力を活かして多様な働き方、つまりダイバーシティを進めない限り、企業の存続は危うい。「長時間労働に頼る」といった経営はもはや通用しなくなり、古い価値観を持つままの企業は優秀な人材を手放すことになる。だから、イクボ

スが増えれば、様々な事情を持ついても働ける人が増え、人材確保になる。社会が求めるワーク・ライフ・バランスを実現することにもつながり、会社にとってメリットがある

とアピールしています。次に、イクボスセミナーの開催です。部下との対話を再現して自分がイクボスカダメボス（イクボスの反対語）を知り、具体的にイクボスのあり方（ロールプレイ）を体験してもらいます。これは効

果がありますね。ダメボスは、部下にこれまでの自分の意識を押しつけてしまい、受容・共感する力が不足している。それをセミナーのロールプレイを通して養っていくのです。

「イクボス」に対する企業の関心は？

現在、僕たちは「イクボス」に関心を持つ企業に呼びかけて「イクボス企業同盟」を広めています。現在（3月）、15

の企業が参加。それぞれの企業がしている「イクボスのあり方」や「イクボス養成のノウハウ」を共有して、社会にメッセージを発信していこうとしています。

イクボスがいると、不機嫌な職場、不機嫌な夫婦が減ります。せっかく変わってきた子育て世代の意識をイクボスが後押しして、実際に形にするよう変えていって欲しいですね。

「パパとママが描くみらい手帳」

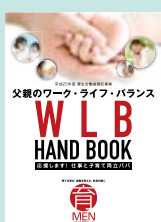
新しい命を待つパパとママに向けた冊子。「パパの育児と愛情曲線」「マタニティ・ブルーと産後うつ」など、2人の関係づくりから仕事と育児を両立する生活の具体的なシミュレーションまで、書き込み式でわかりやすい内容です。

編集・発行 東京都ウィメンズプラザ H 27 年



「父親のワーク・ライフ・バランス ～応援します！仕事と子育て両立パパ～」

これから父親になるパパ、子育て中のパパに向けて仕事と子育てを両立するためのヒント満載のハンドブック。先輩パパたちの生の声やわかりやすい子育て支援の制度や情報、相談窓口が紹介されています。厚生労働省委託「男性の育児休業取得促進事業」H 26 年



千代田区でのパープルリボン／パープルアクション

11月25日の「女性に対する暴力撤廃国際デー」にちなんで、女性に対する暴力をなくそうとの運動が行われました。MIWと上智大学での非暴力をアピールするパープルリボン等の取り組みをご紹介します。

上智大学での講座とパープル・アクション

MIWの「デートDV」出前講座

MIWは11月8日、上智大学で女子学生や女子高生を対象に「自分のこととからだを守る講座」を開きました。デートDVについてのお話や学生による寸劇もありました。



講師の中島幸子さんと三浦まり先生



中央大学のNHP（ノンハラスメントプロジェクト）のメンバーによる寸劇



パネル展示を行った上智大学総合グローバル学部田中雅子先生（前列左端）のゼミの皆さん

上智大学の男女共同参画推進室が中心となり、女性に対する暴力撤廃や人権を尊重するキャンペーン「End Violence against Women and Girls パープル・アクション」が展開されました（11月25日～12月5日）。学生たちがパネル展示やデートDVについて考えるイベントを実施しました。



昼休みに実施した「デートDVカフェ～大学生にとって身近なジェンダー暴力に気づこう～」の場面



学生が制作した女性への暴力撤廃の世界の動きについてのパネル展示

地域の皆さんのリボンがパープルツリーになりました

MIWでは、2007年から、女性や子どもへの暴力をなくすパープルリボンキャンペーンを展開しています。今年度は区内各所で作って頂いたパープルリボンをツリーに飾り、区役所の玄関と2階窓口に展示しました。



パープルリボンツリー



ちよだボランティアセンターの皆さん



西神田児童センターの皆さん



富士見わんぱくひろばの皆さん

MIW パープルリボンプロジェクト関連

MIWでは11月に、パープルリボンキルトやDV防止啓発のパネル展示、パープルリボンコンサート等、パープルリボンプロジェクトを実施しました。



コンサートの様子



MIW 交流サロンでの展示



「NO! 女性と子どもへの暴力」をアピールして、MIWと一緒に参加したザ・ボディショップの皆さん。10月に実施した福祉まつりで。

MIW 祭り

第2回

昨年10月3日、4日に第2回のMIW祭りを行いました。前回は上回る22団体が、講演会やブースでの活動紹介、パネル展示などを行いました。交流会では各団体が活動を紹介し合ったあと、情報交換。メンバー同士の親交も深まりました。



正面の看板 今回のテーマは「もっと話そう! わたしらしくあなたらしく 生きるために」。



オープニングセレモニーはTHE DIVASのゴスペルコンサート



クイズラリーの景品



千代田区女性史サークルの折り型



アマビデオクラブ登録団体紹介DVDを作成



ななかまどのハンドマッサージ



九段労務研究会



みゅうじろうはMIWのマスコット!

区役所1階のさくらベーカリー作「みゅうじろうパン」



なごやかな交流会風景



ちよだ女性団体等連絡会の講演会「高齢期の住まいは多様です」



MIW 祭り実行委員会のメンバー



神保町応援隊の「大人ののおはなし会」

上記以外の参加団体 (一社) 東京建築士会女性委員会バリアフリー部会、ホームヘルパー連絡会、NPO 法人エガリテ大手前、Smile 研究会、グループ NIKO、みゆ企画友の会、キララ・ソーイング、(一社) 裁判員ネット、(公財) 東京 YWCA、しんぐるまざあず・ふいーらむ千代田、グループふだんぎの幸せ、家庭栄養研究会、日本国際手話通訳ガイド協会、(公社) アムネスティ・インターナショナル日本、すずらん会の会

MIW のイベント報告

連続
講座

「これからが人生本番！」にしたい人のキャリアデザイン講座

30代、40代から人生後半に向けて、ポジティブに人生をデザインするために、キャリア、パートナーシップ、コミュニケーション、ファイナンシャルプランニングについての講座を開きました（H26年10月～11月）。毎回、講座終了後に、振り返りシートに気づいた点などを記入し、全体を通して自分の人生をデザインするヒントを学ぶ機会となりました。「仕事は人についてくる」という講師の言葉が印象的。「ロールモデルの方の実体験のお話にリアリティがあり、とても参考になった」などの感想を頂きました。

回	テーマ・講師
1	「これからの時代を見据えたキャリアデザイン」 講師：福沢恵子さん
2	「恋愛×結婚論 DVに陥らないためのチェックリスト」 講師：伊田広行さん
3	「信頼を深めるコミュニケーション力を磨く」 講師：島谷美奈子さん
4	「お金のプロに聞く生涯賃金の話～私のファイナンシャルプランニング」 講師：大竹のり子さん
5	「ピンチはチャンス ロールモデルの話」 ゲスト：廣瀬美香さん、後迫孝さん、今村奈美子さん
6	「しゃべり場・10年後の目標を語り合うオフ会」 ファシリテーター MIW スタッフ



福沢さん



伊田さん



島谷さん



大竹さん



左から今村さん、後迫さん、廣瀬さん

情報交流会 MIW 千夜一夜 98 夜

Youは何しに千代田区へ？

驚きエピソード～それはあり？なし？

■ 日時 平成27年2月18日（水）
18:30～20:00

■ 会場 MIW交流サロン

千代田区にお住まいやお勤めの5人の外国人の方から、日本人の夫婦やカップル関係、日本の文化や制度で驚いたエピソード、理解しにくいと感じた出来事等を伺いました。食生活から働き方、同性婚についてまで話は広がり、それぞれの文化の多様性が尊重され理解される社会に向けての話に会場は盛り上がりしました。

【ゲスト】

グエン・イアンさん（ベトナム）
ナム・ギヨン（南 基然）さん（韓国）
デュバル・セバスチャンさん（フランス）
ドゥイ・ワハユ・セティヨリニさん（インドネシア）
イアン・イーホン（厳 芸紅）さん（中国）



左からセバスチャンさん、イアンさん、ナムさん、セティヨリニさん、イアンさん

MIW 相談室

MIWの相談室では、夫婦関係、男女の生き方・働き方、性に関すること、セクシュアル・ハラスメントや夫婦や親密な関係での暴力などについて相談を受けています。面接でも電話でも相談できます。予約制です。（区内在住、在勤、在学の方対象）

電話での予約 ☎ **03-5211-4316** 無料・カウンセラー（女性）が担当します

◆相談日時

火曜日
法律相談（女性のみ）
第2 13:30～16:30

水曜日
第1・3・5 10:30～15:30
第2・4 17:00～21:00

木曜日
第1・3・5 17:00～21:00
第2・4 10:30～15:30

金曜日
第1・3・5 10:30～15:30（英）
第2・4 17:00～21:00（英）

土曜日
第1・3・5 10:30～15:30
第2・4 10:30～15:30（英）

※（英）＝英語での相談もできます。
在住の方のみ、託児サービス（有料）があります。

MIW インフォメーション

◆ビデオサロン

『グッド・ハープ』

日時 4月17日（金）14:30～、18:30～
監督 マリア・ノバロ／2010年／120分／メキシコ
メキシコ先住民伝来の薬草研究を続けてきた母、地方ラジオ局に勤めるシングルマザーの娘。ある日、母がアルツハイマー型認知症と診断される。メキシコの多彩な植物を背景に介護や看取りの問題が静かに描かれる。

『あしたのパスタはアルデンテ』

日時 5月15日（金）14:30～、18:30～
監督 フェルザン・オズベク／2010年／113分／イタリア
申込受付 4月20日から
南イタリアの老舗パスタ会社の次男トンマーゾが、同性愛者であることを家族に打ち明けようと決心した矢先に、兄が先に爆弾発言。セクシュアル・マイノリティや家族をテーマにした笑いいっぱい、時にしみみりとさせる作品。

※会場はともに MIW 交流サロン。申込は MIW まで



千代田区男女共同参画センター MIW (ミュウ)

所在地 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所10階
交通機関 東京メトロ東西線、半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車、徒歩5分
開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後9時 土曜日 午前9時～午後5時
休館日 日曜日、祝日、年末年始
TEL 03-5211-8845 / 相談予約受付 03-5211-4316 FAX 03-5211-8846
E-mail miw@city.chiyoda.tokyo.jp
URL http://www.city.chiyoda.lg.jp (MIW で検索してください)

編集後記 ■ 2014年、マララ・ユスフザイさんが17歳という史上最年少でノーベル平和賞を受賞し、命を懸けて子どもの教育、特に女性の教育の重要性を説いた。日本では子どもや女性が教育を受けることは、今では特別なことではない。性別にかかわらず、自立する機会が誰にでも均等に与えられる社会の実現を切望する彼女のスピーチは、今も心の奥深くに残っている。(S)